

## コラム 宇宙に触れる天体望遠鏡

ガリレオが初めて望遠鏡を夜空に向けてから 400 年。「望遠鏡」は世界天文年 2009 の重要なキーワードのひとつです。

多くの方々が、「天文学」という言葉から連想するものに「望遠鏡」があります。望遠鏡がなくても星座を結んだり、流れ星を見たりと、夜空をたのしむことはできます。が、なにかに興味を持ち始めたとき、それをもっと近くで見たい、触れてみたい、というのは人間の知的好奇心から発せられる自然な欲求です。でもそれが実現できない天体の場合、その欲求を満たす道具が天体望遠鏡です。

しかし、望遠鏡はとても高級品で容易に手に入れられないというイメージが一般的なようで、いざ入手となると二の足を踏む方が多いようです。選び方がわからない、というのも大きな要因かもしれません。

世界天文年を機に少しでも宇宙に近づきたい方のために、市販されている望遠鏡や天体観測ツールの中でも、お薦めものを紹介する企画を現在進めています。少しでも多くの方の判断材料になればと思っています。

また、各地には多くの公開天文台やプラネタリウム館があり、そこで望遠鏡を使った観測会が定期的に開催されています。望遠鏡の入手だけでなく、そういったところに足を運んで宇宙を身近に感じることもお薦めです。

2009 年、そしてその後もずっと、一人でも多くの方が星空へ目を向け、その美しさと果てない宇宙の不思議を感じてもらいたいと、私たちは願っています。

## 資料編

世界天文年 2009 に関連して利用いただくための無料素材や各種データを掲載しています。